

気が付けばツクツクボウシが鳴いていて、夏も後半に入ったようです。大雨や台風などの自然災害も心配されますが、これ以上酷いことにはならないでほしいですね。

さて、この「教育研修部ニュースレター」のネタ探しに苦労しているのはいつも通りですが、今回はマッチング用の試験準備もあり、この時期まで書きそこねておりました。

本日は2回目の試験、21人の先生が来てくれました。

例年のことではありますが、暑い盛りに多くの方が遠くから来てくれます。本当にありがとうございます。

しかし定員が定まっている以上、マッチングのリストを作る必要があります。とても申し訳なく思いますし、「ここで働きたい」「勉強したい」と思う病院にそのまま入職でよいのではないかと個人的には思います。でも実際はそういうわけにもいきません。なんらかの基準でマッチングのリストを作るため、多くの方が複数の病院で同様に試験を受ける手間をかけなくてはなりません。試験受けるのは、誰だっぴやですよね。

今年も筆記、小論文、面接の3本立（昔は「名画座」という映画館があちこちにあって、3本上映なんてやっていました）です。

この試験が選考方法として良いのかは分かりませんが、現時点で他に改善策も思いつきません。

当院の定員が8名ですが、受験してくれた先生の中でどなたが来年来てくれるのか全く分かりません。まずは皆さんよろしくお願いいたします。そして試験ご苦労さまでした。

来年はネクタイ禁、スーツ禁のドレスコードが良いでしょうかね。



今年もたくさんの先生方に申し込んでもらいました。ありがとうございます。来年、一緒に頑張りましょう。